

## 八田豊 展

*Yutaka Hatta: Solo Exhibition*



福井県を拠点とする八田豊(1930-)は、1950年代初めに画家としての活動を開始し、'80年代に視力を失ってからは聴覚、触覚を駆使し、創作活動を続けてきました。同時に、北美文化協会の中心メンバーとして、また、その解散後も地方における芸術文化運動の重要性を訴え続けた指導者としても知られています。

戦後、海外からの情報流入により都市部を中心に様々な前衛美術運動が興るなか、八田は「日本の風土の中にある素材から新たな芸術を生み出す、そしてそれを絵の上で試みたい」という意志のもと、当時盛んだったアンフォルメルなどの動向とは一線を画した表現を模索します。'60年代中頃より、キャンバスや絵具、絵筆を排し、日本の紋章などを参照した円を基調とする幾何学的な図像を、パルプボードや金属板にキリや鑿(たがね)で刻み込むという独自の手法で、イメージの無機質さと刻線の蠢くような物質性が同居する絵画空間を生み出し、第9回シェル美術賞(1965年、3等賞)や「現代美術の動向展」(1966年、国立近代美術館京都分館)など数々の展覧会出品や受賞によって高い評価を得ました。視力以外の感覚を使って制作するようになってからは、絵具の滴る音を頼りに偶然の現象と聴覚によるコントロールから生まれる色鮮やかなタブロー作品や、紙の原料となる楮(こうぞ)を素材に、その触感と物質性を主題とする作品制作に取り組み、今日に至ります。

本展では、八田の長きにわたる画業の一つの到達点とされる'60-'80年代のカーヴィング作品を中心に、90年代のタブロー作品、'90年代後半~2000年代の楮による作品を交え、素材-イメージ-行為が視覚の恣意性を越えて肉薄することで結晶化した唯一無二の絵画世界を紹介します。

参考作品 | 《作品65-BB(トロンロン)》水性塗料、パルプボード | カーヴィング | 162.5 x 122 cm | 1965年

### 【展覧会概要】

展覧会名：八田豊展 *Yutaka Hatta: Solo Exhibition*

会期：2024年 3月23日 [土] - 4月27日 [土] \*日・月 休廊

会場：アートコートギャラリー 〒530-0042 大阪市北区天満橋1-8-5 OAPアートコート1F

開廊時間：11:00-18:00 [土曜日-17:00]

主催：アートコートギャラリー(株式会社八木アートマネジメント) | 協賛：三菱地所株式会社、三菱マテリアル株式会社、三菱地所プロパティマネジメント株式会社

#### ◆ 関連イベント

3月23日 [土] 作家在廊予定 / 15:00-17:00 レセプション

【お問い合わせ】アートコートギャラリー [担当: 清澤・灰田] ※ビジュアル資料ご希望の方は、お気軽にお問合せ下さい。

〒530-0042 大阪市北区天満橋1-8-5 OAPアートコート1F TEL:06-6354-5444 FAX:06-6354-5449 E-mail:info@artcourtgallery.com www.artcourtgallery.com

© ACG プレスリリース - 展覧会開催のご案内 -

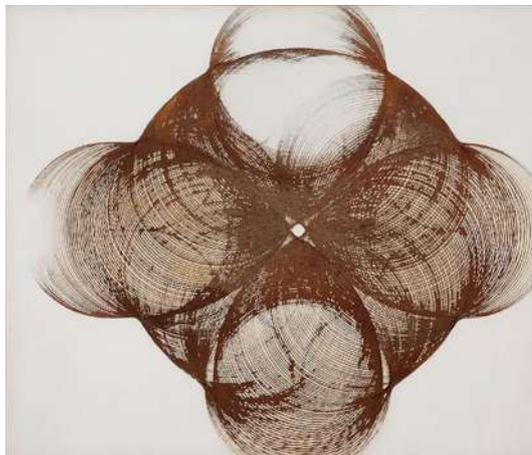


YAGI ART MANAGEMENT, INC.  
ARTCOURT Gallery

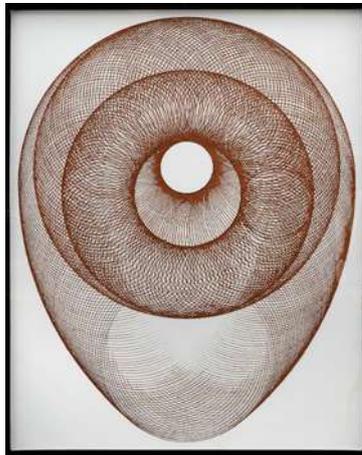
# 八田豊 展

Yutaka Hatta: Solo Exhibition

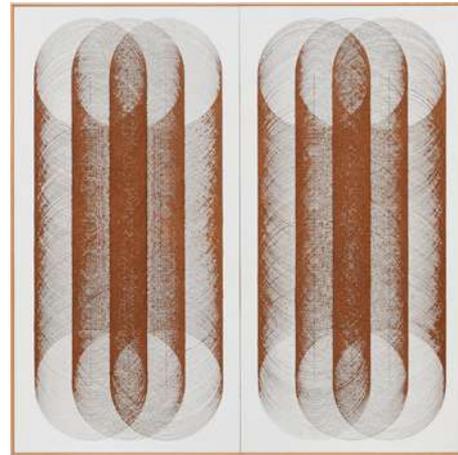
## ◆ 主な出展作品



《作品 64》 1964年  
水性塗料、パルプボード|カーヴィング|104 x 119.5 cm



《作品65-66》\* 1965-66年頃  
水性塗料、パルプボード|カーヴィング|156.5 x 123.5 cm



《HAHA》 1987年  
水性塗料、パルプボード|カーヴィング|180 x 180 cm



《作品》 1990年  
アクリル、キャンバス|162.3 x 130.3 cm



《流れより》 1990年  
アクリル、キャンバス|162.3 x 130.3 cm

\* 名称不明の作品に付した仮題



《流れ 06-28》 2006年  
楮、布|130 x 180 cm



《流れ 97-02》 1997年  
楮、布|134 x 182 cm

【お問い合わせ】アートコートギャラリー [ 担当: 清澤・灰田 ] ※ビジュアル資料ご希望の方は、お気軽にお問合せ下さい。

〒530-0042 大阪市北区天満橋1-8-5 OAPアートコート1F TEL:06-6354-5444 FAX:06-6354-5449 E-mail:info@artcourtgallery.com www.artcourtgallery.com

# 八田豊 展

## Yutaka Hatta: Solo Exhibition

### ◆ 八田豊 Yutaka Hatta

- 1930 福井県今立郡中河村(現・鯖江市)生まれ
- 1951 金沢美術工芸専門学校美術科洋画専攻卒業  
土岡秀太郎に師事  
北美文化協会会員となる(同年の第5回北美洋画展に初出品)
- 1956 創元会会員となる(1953年の第12回創元会展に初出品)
- 1963 創元会を退会
- 1980 この頃より視力が低下し、制作活動に支障をきたす。その後、'80年代に視力を失う
- 1983-92 今立現代美術紙展実行委員会の中心としてその運営に尽力する
- 1993- 丹南アートフェスティバル(福井、武生)を企画開催。以後、国際丹南アートフェスティバルとして2019年まで毎年開催

#### | 主な個展 |

- 2024 八田豊 Sound and Vision(Kanda & Oliveira, 千葉)
- 2022 LADSギャラリー、大阪 [ '18 - '15, '13 - '10, '08 - '06 ]
- 2021 視覚を超えて 八田豊-90歳、さらなる挑戦(呉市立美術館、広島)
- 2019 八田豊展-流れに触れる コレクション展 2 美術の中のかたち一手で見る造形(兵庫県立美術館)  
アートドキュメント2019 八田豊展-アウラに生きる-(金津創作の森美術館、福井)
- 2017 八田豊 88展(丹南アート特設美術館 ショッピングセンター・シビ内、福井)
- 2003 今日の作家シリーズ・八田豊展-磁場の生まれるところ(大阪府立現代美術センター)
- 2001 八田豊展・50年の仕事の記録と文化運動の軌跡(福井市美術館 他)
- 1991 福井の美術・現代VOL.2 八田豊展(福井県立美術館)
- 1987 八田豊展 弧を刻む(INAXギャラリー、東京)  
ABCギャラリー、大阪

#### | 主なグループ展 |

- 2023 ART WEEK TOKYO 2023 / AWT FOCUS: 平衡世界 日本のアート、戦後から今日まで(大倉集古館、東京)  
Re: スタートライン 1963-1970/2023 現代美術の動向展シリーズにみる美術館とアーティストの共感関係(京都国立近代美術館)  
ACG Reflections 1: Lines - 児玉靖枝・中里斉・八田豊(アートコートギャラリー、大阪)
- 2021 北陸工芸の祭典 GO FOR KOGEI 2021(勝興寺、富山)
- 2015 素材と表現(福井市美術館) [ '14, '12 - '06 ]
- 2005 紙と現代美術-八田豊と6人の作家(アルテジャポネ、ミラノ)
- 2002 長岡現代美術館賞回顧展1964-1968(新潟県立近代美術館)
- 1995 紙の世界展(国立国際美術館、大阪)
- 1983 土岡秀太郎と北荘・北美と現代美術展(福井県立美術館)
- 1968 第3回ジャパン・アート・フェスティバル入選(メキシコ、アメリカを巡回。第4回、フランス、西ドイツを巡回)
- 1967 第9回日本国際美術展 招待出品(東京都美術館)
- 1966 今日の作家'66展(横浜市民ギャラリー、神奈川)  
第3回長岡現代美術館賞展 招待出品(美術館買上げ)  
現代美術の動向展(国立近代美術館京都分館)  
第7回現代日本美術展(東京都美術館)(第8回、第9回)
- 1965 第4回北陸中日美術展(大賞受賞)(第2回、第3回、第9回)  
第9回シェル美術賞(いとう画廊、東京、3等賞)(第11回佳作)
- 1953 第12回創元会展(東京都美術館) '56より会員として第22回まで毎回出品)
- 1951 第5回北美洋画展(会員として第20回まで毎回出品)

#### | 主な受賞 |

- 1969 第4回ジャパン・アートフェスティバル入選('68 第3回入選)
- 1965 第4回北陸中日美術展<大賞>  
第9回シェル美術賞展<3等賞>('67 第11回佳作)

#### | 主なコレクション |

- 金沢21世紀美術館(石川) / 金津創作の森財団(福井)
- 呉市立美術館(広島) / 国立国際美術館(大阪)
- 高松市美術館 / 兵庫県立美術館 / 福井県立美術館

「ACG Reflections 1: Lines - 児玉靖枝・中里斉・八田豊」  
アートコートギャラリー、大阪 | 2023年 撮影: 来田猛

